

NaNa

長久手市国際交流協会 機関誌

2018年10月

Vol. 61

会長あいさつ

長久手市国際交流協会会長 稲村哲也

私の専門は文化人類学で、アンデス、ヒマラヤ、モンゴルなどの先住民や牧民の研究に従事してきました。そうした地域の文化には、環境を守る知恵など、学ぶべきことがたくさんあります。私が会長をお引き受けする意義のひとつは、「多様な文化から学ぶ」という視点を会員のみなさんと共有することだと思っています。

一般に「国際交流」というと、欧米諸国との交流が中心となることが多いかもしれません。しかし、当協会では年々盛り上がりを増してきた「国際交流フェスタ in ながくて」では多様な国々の文化が紹介され、交流が続けられています。これは、長久手市のみなさんが、「万博開催地」の自覚をもち、多様な文化の理解を大切にしていることの表れで、そこが私の最も共感する部分

です。もちろん、ホームステイの提供、日本語教室などなど、重要な地道な活動も行われており、これまで協会を支えてきた方々のご努力に頭が下がります。

一方で、課題もあります。それは、一部の方々に負担が集中しすぎているという点です。大学との交流の強化や、若い会員の増加も望まれます。そのためにはNaNaなどによる情報発信が重要です。NaNaとの対話を通じ、会員の皆様が相互に連携し、気楽に、より活発に活動されることを願っています。



長久手市国際交流協会総会
2018年5月27日(日) 14時～
場所:長久手市文化の家 展示室

国際交流事業

『「ながくて隣人まつり」～リニモテラスイベント～』

リニモテラスの設計のためのワークショップイベントとして「ながくて隣人まつり」が開催され、本協会からも参加をしました。

●「キックオフパーティー」

2018年6月16日(土)10時～13時

場所: 長久手中央2号公園、イオンモール

参加: 本協会はブース出展

留学生ヌフェさん始めベトナムの方が「ベトナムの文化を紹介しました。



ワークショップの様子(6月16日)

●「朝活inリニモテラス」

2018年7月22日(日)7時～8時20分

場所: 長久手中央2号公園、コメダ珈琲店
(長久手イオンモール内)

参加者: 留学生リュウさん(台湾)

7月21日から愛知県立大学留学生のホームビジット、ステイプログラムに参加していた台湾の留学生、リュウ・シユウさんが、意見を述べたりしました。



リュウさん(左)は「日本に来て一番楽しかった!」と話していました。(7月22日)

リニモテラスをご存知ですか? リニモ「長久手古戦場」駅の北側に隣接する駅前広場、長久手中央2号公園、大型商業施設の一部にリニモテラス公益施設(仮称)を含んだエリアのことで、長久手市は公益施設の整備を進めています。この施設のテーマの1つに「多文化共生」があり、本協会としてはここを拠点として活動を進められるよう、深く関わっていきます。

海外交流事業

『ワーターロー市姉妹都市青少年友好親善訪問団』

長久手市では青少年の国際理解のため、2018年8月22日(水)から8月29日(水)まで、長久手市在住・在学の青少年20名を姉妹都市友好親善訪問団員として、姉妹都市であるベルギー王国ワーターロー市に派遣しました。平成6(1994)年から実施しており、本協会では訪問団のサポートを行いました。

われらが親友ワーターロー市とは、今年で26年目のおつきあいで、今回は5年ぶり11回目の派遣。団員は事前研修に始まり、5泊6日のホームステイ体験や、相互交流を通じて、ワーターロー市民との友好関係・相互理解を深めました。



7月11日に事前研修を実施しました。

啓発事業

『日本語教室学習者と小学生との交流会』

～相互理解を深める～

2018年6月24日(日) 10時～12時30分

場所:平成子ども塾

参加者:84名

土曜日本語教室に通っている中国出身の余求真さん、台湾出身の李崇銘さんが、それぞれ赤ちゃんパンダの飼育風景の動画、尺八で日本と台湾の曲を演奏。インドネシア出身のメリーさんと姪のアスカちゃんは、インドネシアの遊び道具を紹介、日本の子どもたちと遊びました。皆で金魚のモビールを作りメッセージの交換もしました。



日本語教室の学習者(李崇銘さん(前列右)、李求真さん(後列右))とボランティア

夏の風物詩「そうめん流し」では、平成子ども塾スタッフがこの日のために作った長～い竹のそうめん流し台、手作り特製つゆ。



屋外の日差しの中、熱心にモビールを作る子どもたち
そうめん流しを楽しむ子どもたちと家族
周りの竹林、木々からのさわやかな風を感じながらの楽しい交流会でした。参加の父兄は国際交流協会を知るきっかけとなったと話していました。

(瀬川典子)

事業の集大成として開催した帰国報告会では、会の運営も団員自らが行う活躍ぶりを見せてくれました。報告会后、本協会が催した交流会では、団員へのインタビューで、現地のリアルな話を聞かせてもらうコーナーも。そんな団員の体験談や、派遣を通じて一皮むけた団員たちの様子は、協会発行訪問団派遣ニュースレターをcheck it out!



交流会で乾杯!

恒例、ライオンの丘での集合写真をパチリ! 帰国報告会の様子(9月24日)

日本語ボランティアと愛知県立大学の合同研修

2018年8月4日(土) 10時～15時

場所: 愛知県立大学

参加者: ボランティア15名(土曜教室12名、木曜教室3名)、国際交流協会事務局1名

学生12名、講師3名(宮谷敦美教授、東弘子教授、日本赤十字社 横井利津子参事)

4年前から、土曜教室・木曜教室では愛知県立大学日本語教員課程の研修生を受け入れています。以来、毎年合同で研修会を開催しています。

今年のテーマは「プロジェクトをベースにした日本語教室での活動方法」でした。PBL(プロジェクト・ベースド・ラーニング)は、学習者中心の教育手法で、答えが一つでない課題を解決する経験を通し学習者が自ら学んでいく教育手法です。この手法により、以下のような課題について研修を進めました。

- ・日本赤十字社職員による「やさしい日本語」でのAED模擬講習
- ・県大学生による地域日本語教室の実態の発表
- ・PBL型教室活動のアイデアを考える
- ・日本語教室運営のためのディスカッション(解決策)

参加したボランティアや学生からは、外国人への日本語支援の手がかりがつかめたとの感想が聞けました。今後も県大との協働を進めたいと強く感じました。

(中嶋泰則)



「やさしい日本語」でのAED模擬講習



グループ討議の様子

編集後記

「これまでに経験した事の無い」猛暑・豪雨・地震・台風
いつしか、虫の声・稔りの秋 木々は色づき活動しやすい季節になりました。
9月までの主な事業を皆様と共有したいと思います。

「大塚・山本・瀬川・中村・後藤」

今後の事業のご案内

11月11日(日) ながくて市民まつり

12月 9日(日) 弁論大会

12月15日(土) ウエルカムにほんご教室
学習発表会

3月 3日(日) 国際交流フェスタinながくて

※詳細は協会HP長久手市広報紙・チラシなどでご確認ください。

「NaNa」vol.60 2018年10月発行

発行 長久手市国際交流協会

編集 長久手市国際交流協会NaNa編集グループ

〒480-1196 長久手市岩作城の内60-1

長久手市役所たつせがある課内

☎(0561)56-0641 FAX(0561)63-2100

E-mail: nia@nagakute.aichi.jp

<https://www.nagakute-nia.jp>

